

新編立川市史資料編 砂川の民俗 目次

口絵

刊行にあたって

凡例……………Ⅱ

目次……………Ⅳ

第一章 砂川地区の成り立ちと生活空間

第一節 本編の目的と構成……………2

一 目的……………2

二 構成……………2

第二節 地理……………3

一 位置……………3

二 地勢……………3

第三節 歴史……………5

一 行政区域の変遷……………5

二 玉川上水と砂川分水……………9

三 地区内の区分……………12

四 概略的な沿革……………17

(一) 近世から第二次世界大戦まで

(二) 第二次世界大戦後の砂川地区

(三) 砂川闘争と砂川地区

(四) 高度経済成長と以後の砂川地区

1 砂川地区における就業先・土地利用

2 砂川地区南部における宅地化

3 企業進出と砂川地区北部における宅地化

4 集合住宅の開発による影響

5 砂川地区の新たな町名・地番

第四節 生活空間……………34

一 村の生活空間……………34

(一) 砂川地区の生活空間

(二) 集落の生活空間

(三) 集落の特徴

二 水の環境……………40

三 住まいの環境……………43

四 生活空間の現在……………45

第二章 社会

第一節 本章の目的と構成……………52

第二節 集落の生活と組織……………52

一 集落の生活……………52

(一) 概観 (二) 構成 (三) 役職

(四) 寄合 (五) 行事

二 クミ・クミアイと生活……………60

(一) 概観

(二) クミ・クミアイ

- 1 クミ・クミアイの型
- 2 年番
- 3 水車利用・生業
- 4 共有膳椀の運営と利用
- 5 葬儀・穴掘り役
- 6 大組の例(七番組)
- 7 クミ・クミアイ付き合いのさまざま

三 集落の諸団体

(一) 消防団・消防団

- 1 概観
 - 2 集落の消防団組織
 - 3 消防団の運営
 - 4 消防団の活動
 - 5 夜警
 - 6 立川市との合併以後
- (二) 青年団
- 1 概観
 - 2 明治・大正・昭和戦前期
 - 3 経験談からみる戦前の青年組織
 - 4 青年訓練所・青年学校
 - 5 戦後の砂川青年団

73

6 経験談からみる戦後の青年団

7 活動の変化

(三) 婦人会

1 概観

2 組織・運営・活動

3 経験談からみる婦人会

第三節 自治会の展開と今日

一 地方自治制度と自治会

二 自治会の生い立ち

三 自治会アンケートの考察①—成員と組織

四 自治会アンケートの考察②—共有・協力

五 事例1 一番組自治会

六 事例2 三番組自治会

七 事例3 七番組自治会

八 事例4 八番組自治会

九 事例5 九番組自治会

十 事例6 南砂川自治会

十一 事例7 殿ヶ谷組自治会

十二 事例8 栄町南部自治会

十三 事例9 けやき台団地自治会(集合住宅)

(一) けやき台団地について

(二) けやき台団地自治会について

(三) けやき台自治会ニュースにみる団地の課題

(四) けやき台団地と周辺地域のつながり

第三章 生業

第一節 本章の目的と構成	126
第二節 生活環境の推移と土地利用	128
一 生産活動の概要	128
二 土地利用の様相	130
第三節 畑作	136
一 畑作の概要	136
二 麦	136
三 陸稲	143
四 サツマイモとイモ類	147
(一) サツマイモ (二) サトイモ	
(三) ジャガイモ	
五 ウド	152
六 植木	154
七 その他の作物	156
八 家畜	159
九 肥料	161
十 農具	162
第四節 養蚕と桑苗	166
一 養蚕	166

二 桑苗	174
------	-----

第五節 商店と職人	180
-----------	-----

第四章 衣・食・住

第一節 本章の目的と構成	186
第二節 衣生活	186
一 ハレとケの衣服	186
(一) 仕事着・ふだん着	
仕事着、尾崎万平家の仕事着、ふだん着・寝間着、 布団・寝方、下着・水着、髪型・かぶりもの、防寒 着・雨具、履物	
(二) ハレの衣服	
冠婚葬祭、通過儀礼、外出着	
二 機織り	198
(一) 砂川太織	
(二) うち織り	
機織り、うち織りの着物、賃機	
三 小学校の校服	204
第三節 食生活	209
一 日常の食事	209
(一) 主食と穀類	
主食糧とその変遷、粟、大麦、小麦、米、芋類	

(二) 食事内容

食制、副食、箱膳、家族間の食事の違い、間食

(三) 食品

バクメシ・オバク、うどん・煮団子、餅、焼餅、饅頭、サツマ団子、茶請け・茶菓子、動物性の食物

(四) 保存食・調味料

保存食、調味料、食物禁忌、妊産婦の食事、弁当、

駄菓子屋

二 ハレの食事……………224

祝儀の料理、葬儀の料理

三 戦中・戦後の食……………225

第四節 住生活……………227

一 養蚕農家の住まい方……………228

(一) 屋敷

宮崎光一家の旧主屋、豊泉喜一家の旧主屋、養蚕の設備、風呂、便所、土間、ヒジロ、暖をとる、電気、養蚕室、クワバ、アナグラ、豚舎・鶏舎

(二) 水の利用

砂川分水・殿ヶ谷分水、井戸

(三) 屋敷林と雑木林

赤い風、屋敷林、境木、雑木林

二 付属屋の調査……………238

(一) 荒井家土蔵

荒井家について、大蔵、味噌蔵

(二) 滝島家蚕室

滝島家について、蚕室

(三) 吉澤家蚕室

吉澤家について、蚕室

(四) 新藤家桑室

新藤家とその付属屋、桑室、その他の地下施設

第五章 人の一生と儀礼

第一節 本章の目的と構成……………254

第二節 婚姻儀礼……………255

一 縁談から婚礼前まで……………255

適齢期、結婚すること、縁談、通婚圏、ヨメミ（嫁見）と聞き合わせ、見合い、縁談についての占いなど、ナコウド（仲人）、御礼から見る仲人などの関係者、クチガタメ（口固め）、ユイノウ（結納）、結婚前のデート、縁談から婚礼までの期間、破談、アシイレ（足入れ）、嫁入り道具、婚家での道具のお披露目

二 婚礼当日……………261

婚礼、クミアイの手伝い、オクリダシ（送り出し）の宴、マエザシキ（前座敷）、嫁入りの乗り物、迎え酒、嫁の衣装と髪型、嫁入りに持参する衣装の購入、仲人や親戚たち

の衣裳、嫁の入家儀礼、ザヘエ（司会者）、両家の挨拶、着座位置、婚家の床の間の飾りと挨拶、婚礼時の暖房、桜湯、冷酒、アイサカヅキ（三三九度）、親子の盃など、親族について、婚礼に使う什器など、料理と仕出し屋、子どもたちもお呼ばれ、嫁の着替え、宴会の余興、宴会の取り持ち、婚礼の見物人、御祝儀のウドン、婚礼の引き出物、ヨメノオチャ（嫁のお茶）、アトザシキ（後座敷）、宴会の時間、結婚式場の変遷、近年の結婚

三 婚礼後……………271

婚礼の翌日の挨拶回り、婚礼の後片づけ、新婚旅行、結婚直後の里帰り、親戚への挨拶、髪洗い、仲人への挨拶、嫁入り後初めての節供、節供礼、通常の里帰り、里帰りの小遣い、実家の母親と婚家の関係、長男長女と次男以下の人生儀礼の違い

第三節 出産・成長の儀礼・子育て……………276

一 出産……………276

子を生むということ、ツワリ、安産祈願、ハラオビ（腹帯）、妊娠中の禁忌、出産までの食事、出産までの労働、サンバ（産婆）、自宅出産、出産で実家に帰るかどうか、出産時の夫の役目、ノチザン（後産）、出産の知らせ、ウブユ（産湯）、ヘソノオ（臍の緒）、産後の食事、産後にしてはいけないこと、産のケガレ、ウブギ（産着）、マゴダキ（孫抱き）、出産祝い、出産後のカオダシ（顔出し）、オ

シチャ（お七夜）、命名、オビアケ（産明け）、捨て子と改名、ボンノクボの毛、死産

二 成長の儀礼……………281

オミヤマイリ（お宮参り）、オクイヅメ（お食い初め）、三月の初節供、五月の初節供、ユミハマ祝いとハゴイタ祝い（初正月）、お祝い返し作法、イッショウモチ（二升餅）、三歳の祝い、五歳の祝い、オビトキ、成人式、親元の苦労

三 子育て……………286

子育て、オシメ（お襦袢）、初乳、乳、コモリ（子守）、置き去りの子ども、店の子ども、前のカワ（砂川分水）の危険性、乳菌の抜け替わり、子どものおやつ、子育て地蔵・和泉の地蔵、ヨバリヤマ・迷子、民間薬、身体検査と予防接種、子どもの病気、厄払い、子どもの躰

第四節 子ども時代……………289

一 子どもの役割……………289

子どものお手伝い、子守

二 子どもの遊び……………289

子どもの遊び場、川遊び、魚取り、虫取りなど、祖父からの遊びの伝承、鳥獲り、木の実採り、屋敷の中で遊ぶ、風揚げ・コマ回し、女の子の遊び、正月のお大師詣り、幼い子の扱われ方

三 戦時下の子ども……………292

戦争中の小学校、空襲の記憶、普及し始めの自家用車の記

憶、少年団・子ども会

第五節 青年時代……………293

一人前、初潮、女の子の学校・和裁と洋裁、戦争中の娘たち、青年団、農家の長男、食べて働く、山口の観音詣などで遊ぶ、ヨアソビ、恋愛、遊郭、徴兵検査と出征

第六節 大人のくらし……………297

一 女性のくらし……………297

女性の仕事、嫁として成長する、嫁同士のつきあい、嫁の立場、姑に仕える嫁のくらし、コジユウト（小姑）に気を遣う嫁、姑と嫁の関係、嫁の奉公、病氣療養、婦人会とPTA、ツキノモノ（月経）の禁忌、姑の介護

二 男性のくらしと遊び……………299

働く男性たち、ウサギ追い、大人の遊び・言葉遊び、ゴケマワリ

三 年寄りのくらしと病氣……………300

年寄りの集まり、金婚式、足の痛み、病氣見舞い

第七節 葬送儀礼……………300

一 葬送の儀礼……………300

オトムライ（お弔い・葬式）、葬式にかかる日数、葬式の手伝い、土葬ではなくなった時期と葬儀の場の変化、最期の時、亡くなった直後、マクラダングゴ（枕団子）、その他の団子、ヒキヤク（飛脚）、ユカン（湯灌）、早桶と座棺、棺の中に入れるもの、お通夜、料理作り、葬式の料理の決

めごと、シノギ、葬式に食べられるご馳走、葬儀の祭壇

花輪、葬式の作りもの、アナホリヤクニン（墓穴掘り）、

葬儀の受付、読経、棺を閉めるとき、出棺、出立、葬列、

カドオクリ（角送り）、流泉寺での葬儀、埋葬、埋葬後の

キヨメ（清め）、ダンバライ（壇払い）、葬式饅頭、葬儀後

の念仏、葬儀の片づけとクミアイの女性に対する御礼、ヒ

トナノカ（初七日）、カイミョウ（紙位牌）、葬儀後の墓参

り、シジユウクニチ（四十九日）、線香の数に付いての伝

承、ヒヤツカニチ（百か日）、一周忌とそれ以後の法事、

シマイトウバ

二 葬儀と死に関わる話……………312

死の知らせ・予兆、ブク（死穢）、若い者と葬式、念仏鉦

を叩く人、子どもが死んだとき、結婚しないで死んだ人、

雇い人の葬儀、戦死者、普段にやってはいけないこと、人

魂

三 墓制……………314

墓地、ウチハカと共同墓地、無縁の墓

第六章 年中行事

第一節 本章の目的と構成……………316

第二節 年中行事の背景……………317

モノビとカワリモノ、家の神々への供物、暦と行事の配

列

第三節 暮れと正月

一 正月の準備

スストリ、歳暮、羽子板と弓破魔、餅搗き、いろいろな餅、ノリモチ、水餅、オソナエ、年神様、オカマジメと幣束、シメナワ・シメカザリ、門松と松飾り、一夜飾りと正月の掃除

二 大晦日と正月

歳の市、大晦日の夜、「大晦日の食事」、「火にくべるにぎり飯」、「晦日祓い」、「飯の残り」、「ナスガラ、キクガラ」、「除夜の鐘」、ネッコモライ、初参り、雑煮と芋吸物、年男・若水と供え物、正月の食物、年始とセチ、拝島大師、正月とブク、棚さがし・寺年始、寒の入り、七草、正月飾りなどの処理・年神の帰る日、作入れ・初作、鏡開き・蔵開き

三 小正月

粟穂稗穂、若餅、繭玉、女の正月と小豆粥、一月十六日マユダマカキ、お賽日、ヤブイリ、山の神、初観音、エビス講、高幡不動、井戸縄ない、万歳と獅子舞

第四節 春・夏

次郎の朔日、節分、二月八日、初午、涅槃会、出替わり、三月節供、梅若 三月十五日、春彼岸、花祭り、春祭り、五月節供、六月五日、六月中旬 鎌洗いと夏上がり（農耕

儀礼）、七夕、桃の市・烏団扇、瑞穂の浅間様

第五節 盆

盆の日取り、天王様、盆供、中元・盆暮れ勘定、盆棚、無縁様、盆花、迎え盆、松明まわし、盆の供物、新盆、盆の里帰り、盆のヤブイリ、施餓鬼、送り盆

第六節 秋・冬

八朔、秋祭り、お月見・十五夜、秋彼岸、薬師、お月見・十三夜、エビス講、養蚕後の掃除、オカマサマとオカマダシゴ、和泉の地藏、イノコ、七五三・オビトキ、麦まきの祝い、アナツプサギ、カワビタリ、師走八日、クズハキと山の神様、火の番、冬至

第七章 信仰

第一節 本章の目的と構成

第二節 寺社

一	阿豆佐味天神社	366
二	八雲神社	369
三	愛宕神社	371
四	阿豆佐味天神社	373
五	諏訪神社	375
六	神明社	377
七	流泉寺	378

八 玉林寺	381
-------	-----

九 林泉寺	383
-------	-----

第三節 阿豆佐味天神社例大祭	384
----------------	-----

一 記述された阿豆佐味天神社例大祭	384
-------------------	-----

二 現代の阿豆佐味天神社例大祭	386
-----------------	-----

(一) 現代の阿豆佐味天神社例大祭概要	
---------------------	--

(二) 「砂川産直青果祭り」	
----------------	--

(三) 演芸大会	
----------	--

(四) 「おみこし渡御」	
--------------	--

(五) 現代の阿豆佐味天神社例大祭	
-------------------	--

三 阿豆佐味天神社例大祭の歴史	389
-----------------	-----

(一) 獅子舞	
---------	--

(二) 囃子と山車	
-----------	--

(三) 山車の製造と売却	
--------------	--

(四) 特徴	
--------	--

四 阿豆佐味天神社例大祭の再編成	392
------------------	-----

(一) 神輿渡御を中心とした再編成	
-------------------	--

(二) 太鼓を中心とした再編成	
-----------------	--

(三) 阿豆佐味天神社例大祭の特徴	
-------------------	--

第四節 阿豆佐味天神社秋の例祭における神事	397
-----------------------	-----

第五節 さまざまな神仏	400
-------------	-----

一 社と堂	400
-------	-----

金比羅山の神々、地蔵、榎戸弁財天、愛宕社、水天宮社、	
----------------------------	--

愛宕社、神明社	
---------	--

二 神々と祭り行事	406
-----------	-----

天王と神輿、小正月の火祭り、稲荷と初午、「一番組の稲荷と水神」、「赤稲荷」、「井戸主稲荷」、「稲荷の系統」、山の神とヤマ仕事の休み日	
--	--

第六節 講	413
-------	-----

一 代参講その他	413
----------	-----

代参講、近隣の寺社への参拝、集落内の講と女日待	
-------------------------	--

二 巡行する神仏	417
----------	-----

和泉の地蔵、「お地蔵さんが泊まる夜」、「お地蔵さんの迎え送り」、「柴崎地区に泊まったお地蔵さん」、「供物とご利益」	
---	--

益	
---	--

第七節 共同祈願	420
----------	-----

雨乞い	
-----	--

第八節 家の神	421
---------	-----

農家の間取りと家の神、「神棚と大神宮」、「仏壇」、「エビス・大黒」、「荒神とオカマサマ」、「床の間」、「水神・井戸神」、屋敷神、配札とオカマジメ	
--	--

第八章 芸能・娯楽

第一節 本章の目的と構成	426
--------------	-----

第二節 民謡	426
--------	-----

一	立川市砂川地区伝承民謡保存会	426
二	砂川の民謡	428
第三節	娯楽・芝居	440
一	殿ヶ谷のまつりの歴史	440
二	殿ヶ谷一座	442
第四節	祭囃子	445
一	殿ヶ谷十二支はやし連(重松流)	445
二	中里神明囃子連(重松流)	446
三	八番組はやし連(重松流)	447
引用・参考文献一覧		448
協力者・協力機関および資料提供者		456
執筆担当者・市史編さん関係者		459
巻末資料		
資料解題と例言		464
1	皇国地誌村誌	466
2	富士山築立信心連名帳	473
3	富士山開諸入用控帳	491
4	砂川の桑苗 明治・大正・昭和	495
5	養蚕関係手記	(14)
6	砂川村時代の年中行事について(昭和初期の頃)	(1)